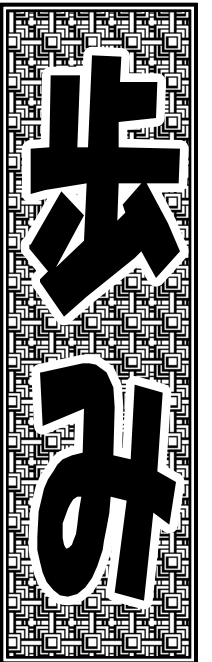


全港湾第88回定期全国大会

安倍政権を打倒し、平和で公平な社会の実現へ！



2017.10.6
NO.613号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
☎06-6574-8424
☎078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます



代表あいさつに立つ松本委員長

9月6日・7日の2日間にわたり、全港湾第88回定期全国大会がシーパレス日港福（豊橋）で開催されました。

阪神支部から代議員7名、特別代議員7名、傍聴23名、計37名が参加しました。

本大会は中間大会の位置づけで、昨年の運動方針を補強する年であり役員改選は無く、16年度活動報告と総括、16年度決算報告、17年度予算案、17年度運動方針案の補強、年間ストライキ権の確立を議論する大会となりました。

議長団選出後、代表あいさつに立った松本中央執行委員長は、北朝鮮危機について言及し、政府の「アラート稼働や民放各社そろって過剰に有事をある状況をふまえ、安倍政権は、北朝鮮危機を口実に、防衛レールシステムに約1600億円、ステルス戦闘機に約800億円など独占資本による軍事産業に数千億円

ともいわれる莫大な利益を与え、国民の税金が注がれようとしていると批判し、今もなお休戦状態にある北朝鮮に対し、武力による威嚇や挑発行為をやめ、平和協定を締結し、平和的協議による解決を促す役割を労働組合が発信していく必要があると話されました。

また、9月の臨時国会に提出される「働き方改革」が同一労働同一賃金を否定し、長時間労働を助長する労働法制改悪だと批判しました。さらに臨時国会召集と同時に衆議院解散を政府が選択肢として目論んでいることも示唆し、安倍政権を打倒するためには労働組合が先頭に立って政治闘争をする必要があると呼びかけました。

来賓あいさつに立った全港湾系各委員長は、中央団交において日本港運協会は、独占禁止法を盾にいまだに産別最賃の有額回答を示さず、極めて不誠実な態度であると批判し、その姿勢を維持するならば、年末年始の荷役協力を拒否する態度を表明し、全港湾にも理解と最大限の協力を求めました。また、連合会になって10年目になる全港湾は発展途上であり、全港湾の団結力を高く評価したうえで、全港湾もたたかう組織を目指して次週の定期大会での活発な討議への期

待と組織発展への協力を呼びかけました。質疑討論では、全体で46名もの発言があり、阪神支部からも代議員、特別代議員を合わせて9名が発言し、活発な討論がされました。

決議では代議員の無記名投票による年間スト権を確立し、16年度活動報告及び17年度の運動方針の補強案及び大会宣言案の一部修正がされた後、再提案され、満場一致で採択、確立されました。

在籍30年組合員表彰で阪神支部から6名が表彰されました。新規分会紹介では川崎へびカーゴ分会、トール神戸分会、名阪船舶分会の紹介があり、分会旗が松本中央執行委員長から授与されました。

最後に松本中央執行委員長の団結ガンパローで散会しました。



全国の仲間と団結ガンパロー



できるはずはないと思いつつ、その国に暮らす皆さんを対象に世論調査をすれば、どんな結果が出るだろうと、ふと思

う。その国とは北朝鮮である。初の日朝首脳会談で北朝鮮が日本人拉致を認めてから15年になる。かすかに開いた扉は残念なことに閉じられたまま。北朝鮮の弾道ミサイルがまた北海道を飛び越えた。耳に届くのは居丈高な物言いであり、画一的な街の声だ。まるで台本でもあるかのよう。それが表の顔なら、知りたいたいの国を支える庶民の本音。多少なりと事実を知っていることを前提に、例えばこんな質問をすればどうなるか。「指導部は拉致問題に誠意をもって対応していると思えますか」「核実験に対し国連安保理は制裁決議をしました。不満ですか」「弾道ミサイル開発に1年分のトウモロコシ代と聞きます。それでも必要でしょうか」「世論調査は「スープの味見」とも言われる。スープとは国民がどう思っているかの民意のことだ。鍋を飲み干さなくても、うまくかき混ぜればスープ1杯で味が分かる。この国でかき混ぜたスープの味は、甘い、辛い、それとも...

大会発言

「荷主責任について」
 現状、通行許可も取らずに海コンの配達が行われている。今秋から荷主責任を問うトライアル調査が始まるが中央本部も注視していただきたい。

技能研修センター

について

2020年に豊橋から神戸のポートアイランドへ移転されると聞いていますが、現状の人材不足を解消する一つとして各資格を取得しやすくする教習科目の免除制度などはないのか？

副委員長 松本 栄一



「フェリー基金

について」

分配された基金の使い道など議案書に明記されていない。明確な使い道を議案書で提案し今後の運動の発展に繋げるべきではないか。

「働き方改革について」

良くするためなどの言葉を並べているが、利益追求型の政策ではない。

まず、最低賃金は全国一律。現在、地方との格差が

広がっている。これは世界的に見ても日本は遅れている。労働者の実態を知らない者たちの会議で進めていることに問題がある。社会的に安倍退陣の運動を進めなければならない。

「独禁法について」

追認作業とストライキ回避はおかしい。我々の進め方自体、独禁法には抵触しない。未組織労働者は除外され、適応されていないから一律ではない。労働組合がなめられている。来春闘はさらに強硬姿勢で突破していただきたい。

副委員長

中山 寛次郎



「労災企業保障

について」

協定書面の中身の共有化、または全国統一化を図るべきではないか、昨年も提案を行ったが、中央の取り組みとしてどうなっているのか。

「ヒアリ対策について」

日本各地で発見されている。中央本部はどの対策をとるのか。また、環境省と

は協議できているのか。
 副委員長 坂本 幸治



「トラック・海コンの長さ規制緩和について」

労働者不足なうえに、経済優先の無理なサービス、長時間労働など劣悪な労働条件を強いられている。規制緩和での対応ではなく、適正料金の收受や約款の周知で労働者が人間らしく暮らせる業界にするべき。

書記次長

碓 寛雄



「トラック・海コン

について」

労働者不足や輸送環境の見直しによる規制緩和といわれているが、安全が置き去りにされている。今こそ規制強化に向けた国交省に対する行政運動を強化していただきたい。

「日検（指定事業体）

問題について」

日検自体に違法行為をしている自覚がない状態で労働組合として相手側が提

案する和解案は到底のめない。東京、名古屋での抗議運動をさらに強化して進めていく所存であるとともに今後もご協力とご支援をお願いしたい。

書記長 河野 照宣



「3次元スケール

について」

全く討議のテーブルに上がらなくなっているが、行政府への働きかけで改めて予算を立てさせるなどして、横転事故防止に向けた運動の強化を望む。

書記次長 南 修二



「フレキシブルタンクバツ

グコンテナについて」

ドライバー責任に異議を申し立ててきた。規制緩和がされてきたことで、国際基準もないタンクバツグで運ばせ、消防法にも矛盾していること、昨年の米油漏れ事故の周知以降また発生したみりん漏洩事故の際にはドライバーの対処の速さは

も功を奏し大惨事にはならなかったが、事故撲滅に向け運動の強化が必要ではないか。
 副委員長 井ノ元 宏樹

井ノ元 宏樹



「コンテナターミナル滞留とトラック待ち時間記録の義務化について」

ターミナルの滞留が長時間労働の原因となっている。荷主都合の場合、30分以上の待ち時間で事業者記録義務化となっている。長時間労働の是正や改善のため、今後の強化を望む。

執行委員 廣渡 信次



「コンテナシャーシ火災

について」

ブレーキ制御が原因で火災事故が起きている。メーカーの警報装置など対策もされているが、高価で普及は難しい。問題個所の整備もメーカー以外には禁止されていること、さらにブレーキの問題個所に関する部品

代、交換工賃ともに高価であることも問題解決の壁となっていると考えられる。費用援助や減免などの運動強化も進め事故防止につなげて頂きたい。
 執行委員 井上 友寛

井上 友寛



全国大会に初めて参加された仲間から、感想を頂きました。

全港灣の組合員となって10年目で全国大会に初参加させて頂きました。

私自身の意識も高まり、刺激も受けとても良い経験になりました。

この経験を分会での運動に生かしていきたいと思

います。

日本コンテナ輸送分会

横井 伸也

今回、初めて全国大会に参加させて頂きました。

全国から集まる組合員の

方々はどんな感じなのだろ

うと、不安と興味がありま

した。

各地方からの質疑応答で

は、たくさん組合員から

の質疑があり、1日目では

時間が足らず2日目に持ち

越すほど、皆さんの熱い思

いと訴えを肌で感じる事が

出来ました。

このような活発な議論を

通して、分会でも何が自分

たちでできるか考え、今後

の組合活動に生かしてい

たいと思います。最後にな

りまして、今大会に参加

させて頂き、ありがとうございました。

菱倉運輸分会 村井 正

今回初めて参加させて頂き、各議題並びに質疑討論等から、より一層今後の課題を確認することが出来ました。

今回の経験を活かし、今後の運動に取り組んでまいります。

後藤回漕店分会

乃村 竜雄

初めて全国大会に参加

させて頂きました。大阪何

分会自体がまだ3年ほどど

いう事もあり、まわりは知

らない人ばかりで、初日は

他分会の方々と緊張して接

していました。しかし皆さ

んとても気さくでいるんな

ことを話してくれ、楽しく

過ごすことが出来ました。

こうして皆さんの分会の

方々と知り合い、色々と話

しをさせて頂きまして、

あらためて組合を通して皆さんの方とつながっているのだと確認することが出来ました。

そして全国各地にもこんなに大勢の仲間がいるのだと思います。これからもいろいろと勉強し、頑張っていこうと思えました。

大阪荷役分会
小山 恭弘

ロジスティクス分会
澤地 信明

全国港湾第10回定期大会 連合化から10年の 節目を迎える

9月13日・14日、豊橋シーパレス日港福に於いて全国港湾第10回定期大会が開催されました。

開会の挨拶では、「最近Aインターミナルという言葉が出来るようになってきたが、数年前にはこんな言

今回初めて全国大会に参加致しました。様々な職場や地域の方の生の声を聞け、広い知識・認識を教えられました。労働者問題等、すべき問題も団結し進むべきと思えました。今後も組合員として団結していきたいと考えています。

議長団には、全港湾より橋崎氏、検定労連より秋谷氏が選出され資格審査報告では代議員・7組合・15地区港湾・執行部32名、全体で280名の参加が報告され、議長より大会が成立していることが宣言されました。

その後、主催者を代表して挨拶に立った糸谷委員長は、世界を巡る情勢にふれ、「日本の近隣で北朝鮮や中国の動きが活発化しており、ロシアについても安全会議を行ったがなんら進

展はしていない。アメリカは沖縄基地建設を押し進めようとしている」と述べられました。

日本政府についても「昨年の秘密保護法や集団的自衛権の容認、さらに今年に入ってから共謀罪を強行採決し、戦争が出来る国づくりを推し進めている。また、働き方改革の安倍政

府は余りありません。任意の時期に首相が解散させられるのは主要先進国の中では日本だけです。安倍政権は慌てて、再来年の消費税増税の使途を見直すためだとか、北朝鮮の核・ミサイル開発に圧力を強めるためだとか、首相が狙った改憲にはすみをつけるなどと言っています。その危険は明らかです。安倍政権が大義のない解散・総選挙にあくまで固執するならば、市民の力で政権を倒す絶好の機会にする。その決意が我々の運動に求められています。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

総括では、本日出された質疑については執行委員会と議論しながら運動を進めていくと委員長から答弁があり、閉会の挨拶のあと委員長は「閉会の挨拶のあと委員長は「閉会の挨拶のあと委員長は」

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

葉は無かった。我々労働者なくして港湾労働はあり得ない事であるが、今後このように進められるAI化等には注視していく必要がある」と述べました。

議長団には、全港湾より橋崎氏、検定労連より秋谷氏が選出され資格審査報告では代議員・7組合・15地区港湾・執行部32名、全体で280名の参加が報告され、議長より大会が成立していることが宣言されました。

その後、主催者を代表して挨拶に立った糸谷委員長は、世界を巡る情勢にふれ、「日本の近隣で北朝鮮や中国の動きが活発化しており、ロシアについても安全会議を行ったがなんら進

展はしていない。アメリカは沖縄基地建設を押し進めようとしている」と述べられました。

日本政府についても「昨年の秘密保護法や集団的自衛権の容認、さらに今年に入ってから共謀罪を強行採決し、戦争が出来る国づくりを推し進めている。また、働き方改革の安倍政

府は余りありません。任意の時期に首相が解散させられるのは主要先進国の中では日本だけです。安倍政権は慌てて、再来年の消費税増税の使途を見直すためだとか、北朝鮮の核・ミサイル開発に圧力を強めるためだとか、首相が狙った改憲にはすみをつけるなどと言っています。その危険は明らかです。安倍政権が大義のない解散・総選挙にあくまで固執するならば、市民の力で政権を倒す絶好の機会にする。その決意が我々の運動に求められています。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。



糸谷全国港湾委員長

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

また、21名の代議員よりコンテナラウンドユース、インランドデポ、フレキシブルバック等についての発言もあり、今春闘に於いて追認作業を行う中でストライキの決行と回避の背景に對しての質問もありました。

主張

大義のない解散・総選挙 国政の私物化を許さない

野党が臨時国会の開催を要求してきたのは、安倍政権に関わる大阪の学校法人「森友学園」への国有地格安払い下げなどの疑惑も、首相の盟友が理事長を務める岡山の学校法人「加計学園」の獣医学部開設をめぐる疑惑も、説明が全く尽くされないうまま通常国会が閉会され、国政上の重大課題として国会を開いて疑惑を解明することが求められたからです。

憲法53条は「いづれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣はその召集を決定しな

党の自民、公明両党が、28日に予定される臨時国会の冒頭で衆議院の解散、総選挙を強行する動きを強めています。

憲法を踏みにじって開催を3カ月も遅らせたあげ

く、ようやく開催するとなつた途端、まともな審議もしないで冒頭解散を持ち出すなどというのは党利党略、私利私略の極みです。安倍首相自身、少し前までは、衆議院の解散・総選挙は考えていないと明言していましたが、それが突然解散・総選挙を持ち出したのは、マスメディアの世論調査で内閣支持率が若干持ち直していることや野党の選挙体制が出来上がっていない

いことを見越したからといわれ、しかし、国会は「国権の最高機関」であり、予算審議などでは参院より大きな権限を持つ衆議院の議員資格を奪う解散が、与党の選挙に都合がよい

は余りありません。任意の時期に首相が解散させられるのは主要先進国の中では日本だけです。安倍政権は慌てて、再来年の消費税増税の使途を見直すためだとか、北朝鮮の核・ミサイル開発に圧力を強めるためだとか、首相が狙った改憲にはすみをつけるなどと言っています。その危険は明らかです。安倍政権が大義のない解散・総選挙にあくまで固執するならば、市民の力で政権を倒す絶好の機会にする。その決意が我々の運動に求められています。

関西地本第72回定期大会 中央に反映させる 運動方針を確立

8月29日・30日に大阪港湾労働者福祉センターに於いて第72回関西地本定期大会が開催されました。

宇野副委員長から開会挨拶があり、北朝鮮問題に始まり、残業代ゼロ法案、働き方改革については現在いかに働きにくい環境であるかを話され、労働者が犠牲になる政治は許さないと述べられました。

その後、議長団に神戸支部の今津氏と阪神支部の入江氏が選出され、執行部16名、代議員64名、傍聴31名の参加で大会が成立していることが確認されました。

続いて、執行部を代表して大野委員長から話され「安倍自公政権を倒すにはみんなの力が必要である」と述べられました。

その後、中央来賓挨拶では、中央本部の真島書記長から挨拶があり、中央の大会に向けて活発な議論を求

められました。

次に第1号議案から第5号議案までが提案され、質疑に入り、質疑応答時には各支部からの活発な発言があり、その後全会一致で執行部提案が採択され、運動方針が確立されました。

大会宣言、スローガンを採択し、岡山副委員長による閉会の挨拶と港湾の現状についての説明が行われ、最後に大野委員長の団結カンパニー三唱で散会となりました。



大野関西地本委員長

労働法制改悪反対連続学習会 私たちの求める 真の「働き方改革」

9月2日神戸市勤労会館に於いて、西谷敏大阪府立大学名誉教授を招き、労働法改悪反対連続学習会が行われました。

今回が最終3回目の学習会で、土曜日という事もあり、大ホール使用規模の学習会となりました。

西谷氏は安倍内閣の「働き方改革」への我々のスタ



大阪市立大学 西谷名誉教授

探し出して、とにかく反対する事。労働者に真に必要な改革を求めていくことが重要であると話されました。

安倍内閣提言の「働き方改革」は同一労働同一賃金、長時間労働の抑制に言及していますが、2016年当初より理念は後退を続けており、「一億総活躍プラン」では、低賃金で不安定な非正規労働者の拡大に拍車をかけています。

それでも「働き方改革」が必要な側面はあります。長時間労働や低賃金により、暮らしは苦しくなり、少子化や労働者不足に繋が

っています。

最賃の底上げもなされてはいますが、地域格差は広がり、まだまだ生活できる水準にはありません。

そのような現状に対して、市民や労働組合が真の「働き方改革」を示してい

地本青対部バーベキュー交流会

体験や意見の交換を通して 更なる団結を強める

9月4日に私たちを歓迎するかのような晴天の中、服部緑地公園において「地本青対部バーベキュー交流会」が行われました。阪神

支部からは3名、地本各支部から8名が参加し、計11名が参加しました。本日は学習会を行ってからの交流会としたかった



天候に恵まれたBBQ

かなければなりません。労働組合の組織率・行動力・影響力を上げ、法律による規制強化への運動を行い、使用者ではなく、労働者のための労働協定を結んでいくことが必要です。

執行委員 道下 拓也



この辺が田畑の頃、こんな生物がいたか想像力を働かせよう

無数の自称「旅カラス」が宿ぐらに全国の王事現場を渡り歩いたと、ワシまた現役で出た

最後に小林部長は「この



地本青対部の団結強化を確認

たいと感じました。 執行委員 坪井 雄志

分かるかな？

懸賞クイズ



【問】お酒は20歳から飲めます。煙草は20歳から吸えます。選挙権は18歳からです。では、自動車は何歳から乗れるでしょうか？

612号の回答

「腰」

12名からの応募があり、10名が正解でした。

抽選の結果、以下5名の方に図書カードを進呈します。

兒玉 侑嘉乃・松林 美琴(ジャパンEXP分会)

市川 陽一・西山 育治・内藤 孝二

(新神戸セキュリティ分会)

613号の締め切り日は10月27日(金)です。

ふるってご応募ください。